

要請番号 (JL52722B10)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ナミビア	G159 数学教育	20～45 歳のみ	個別	新規	2年	・2023/3・2023/4・ 2024/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育・芸術・文化省

2) 配属機関名 (日本語)

ウサコスジュニアセカンダリー

3) 任地 (ウサコス) JICA事務所の所在地 (ウィントフック)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車 で 約 2.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

首都から西(大西洋)に向かう幹線道路の中間地点、ウサコス町(人口約3500名)にある中高校。同地域は山に囲まれ、ナミビア国内でも暑さが厳しい地域として知られている。配属先は町の中心部に位置し、グレード8～11(日本の中学2年生～高校2年生に相当)の生徒が通う。全校生徒は約490名、各グレードは3～4クラス。配属先はこれまでに3名の隊員(PCインストラクター)を受け入れた経験を持つ。※初等教育分野隊員の活動情報(<https://www.jica.go.jp/namibia/office/others/volunteer/index.html>)

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ナミビアの教育現場の課題として、教員の授業スキルが十分とは言えず、生徒への発問も考えさせる間もなく答えを伝え、一方的な説明となったり、板書をノートに写すことが授業の中心となっていることが挙げられる。特に数学では初等教育段階で数の概念を習得できていない生徒が多く、そのため進級による学習レベルについていけず、数学の単位を落として留年する生徒も多い。「第5次国家開発計画」では「能力が高く、健全な人材育成」が目標の一つとして掲げられているが、卒業後の就職や高等教育への進学に備え、生徒の計算力の強化が必要となっており、現状を改善し、教育の質を向上させるための支援が求められ要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- グレード8～11の数学クラスにて、視覚的な教材・教具や体験活動を取り入れた楽しく分かりやすい授業を行う。
- 同僚教員の教授能力が高まるようにサポートを行う。(教材・教具の作成や授業内での活用へのアドバイス)
- 可能であれば、体育、ICT(コンピュータの基礎操作レベル)などの授業を担当することも期待されている。
- 市内および近隣の小/中高校、教育事務所に派遣される隊員との連携活動が期待されている。(教員向け研修などを他の隊員や配属先関係者と協働しながら実施することを想定)

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

基本的な事務機器一式(コピー機等)はあるが、指導教材等は十分でない。PCルームには生徒用PC(Windows7)が30台設置

4) 配属先同僚及び活動対象者

校長 女性 50代
同僚教員19名(男性3名/女性16名) 20～50代
秘書・校務員7名
グレード8～11の生徒
1クラスあたりの生徒数は約35名。

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

英語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：(中学校又は高等学校教諭(数学))

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(指導経験)2年以上 備考：指導が求められるため。

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(ステップ気候) 気温：(10～40℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

現在7名の小学校教育隊員が活動中であり、ナミビア国の算数教育の向上を目指している。